

【災害に応じた対応を理解する】

## 【風水害等編】土砂災害について

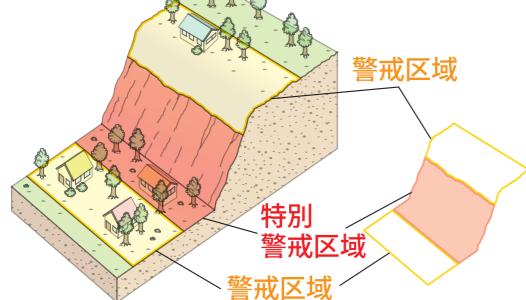
篠栗町は約7割が山林で、土砂災害警戒区域等が多くあります。  
危険性を知り、避難のタイミングや避難先を考えましょう。



### ● 土砂災害とは

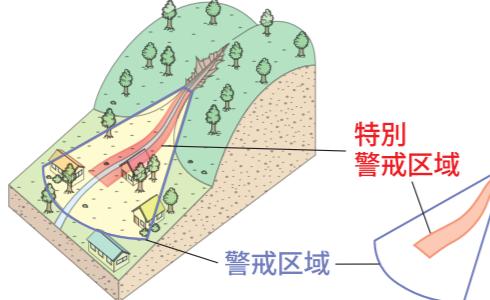
土砂災害は、がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべりの3種類に分類されており、それぞれで危険な範囲や前兆が違います。

#### [がけ崩れ]



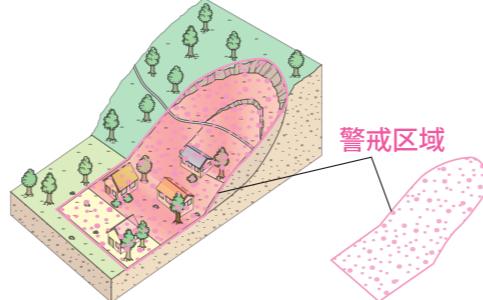
- 急な斜面が雨水の浸透や地震などの影響によって、突然崩れ落ちる現象です。
- 突然発生し、かつ崩れるスピードが速いため、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高いです。
- 崩れた土砂は、斜面の高さの2~3倍も離れた距離まで届くことがあります。

#### [土石流]



- 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などの影響によって、一気に下流へと押し流される現象で、一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。
- 規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で、破壊力がとても大きいです。
- 大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、被害が大きくなります。

#### [地すべり]

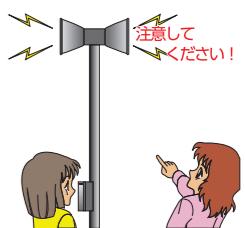


- 比較的緩やかな斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へ移動する現象です。
- 斜面の表面部分が崩れ落ちる表層崩壊と、深層の地盤までもが崩れ落ちる深層崩壊があります。
- 大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、被害が大きくなります。

### ● 土砂災害警戒情報に注意

#### 土砂災害警戒情報とは

「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。町が警戒レベルを発令する際の指標の1つであり、住民の皆さんのが自主避難を判断するための重要な情報です。



#### 土砂災害に関する気象情報



#### 土砂災害警戒情報が発表されたら

「土砂災害警戒情報」が発表された時は、「**いつ災害が起きててもおかしくない**」という非常に危険な状態です。土砂災害の危険がある場所にいる方は、安全な場所への避難を判断してください。



### ● 土砂災害の危険がある場所にいる方は...

#### ① 安全な区域にある建物内への立ち退き避難を基本とする。

(警戒区域外にある知人・親戚宅や指定緊急避難場所など)



#### ② 雨などの状況により、安全な区域までの移動が危険な場合は、近隣の頑丈な建物内の上階で安全を確保する。

#### ③ 外が危険な場合は、屋内の上階(山の反対側)で安全を確保する。

警戒区域内での避難は、災害の発生に伴い孤立してしまう可能性があるため、必要な物資や連絡体制などをあらかじめ整えておきましょう。



### ● 自宅の土砂災害発生の危険度を知る



まずは、マップページで自宅を確認し、土砂災害警戒区域等に該当するかご確認ください。警戒区域等に該当しなくとも、自宅の近くに山やがけがあったり、自宅が造成地に立っていたりする場合にも土砂災害への警戒が必要です。該当する場合は、どのような状況になったら、どこに避難するかを事前に考えておく必要があります。

降雨時の土砂災害の危険度(発生のおそれ)は、  
**「福岡県 総合防災情報 土砂災害危険度情報」**の  
ページで確認できます。

福岡県 総合防災情報 土砂災害 検索

